

製品名: CD35 (18019) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe08374**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,IF-P 1:100-1:200
分子量	224kDa

抗原情報

遺伝子名	CR1
別名	C3BR; C4BR CD35; CR1; Knops blood group antigen;
遺伝子 ID	1378.0
SwissProt ID	P17927
免疫原	ヒト CD35 の合成ペプチド

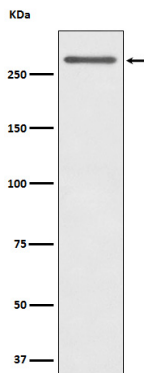
背景

活性化補体を有する粒子および免疫複合体の細胞結合を媒介する。赤血球および単球 / マクロファージによる補体オプソニン化病原体の捕捉および排除において重要な役割を果たす膜免疫接着受容体 (PubMed:2963069)。これらの細胞による活性化補体を有する粒子および免疫複合体の結合を媒介し、循環血から排除する (PubMed:2963069)。また、代替経路および古典経路の C3/C5 転換酵素の形成および機能を阻害することにより、自発的な補体活性化を阻害する作用、ならびに第 I 因子による C3b から iC3b、C3c、および C3d,g への、および C4b から C4c および C4d への切断の補因子として機能することにより、自発的な補体活性化を阻害する (PubMed:2972794、PubMed:8175757)。また、リガンド結合時に活性化ヘルパー T 細胞から制御性 T 細胞の生成に寄与することで、免疫調節にも役割を果たします (PubMed:25742728)。

研究分野

タグとセルマーカー

画像データ



ヒト扁桃腺細胞溶解物中の CD35 発現のウェスタンブロット分析。